

134 CDDP＋カペシタビン＋トラスツズマブ療法

■適応：HRR2陽性胃がん(進行再発胃癌)

投与量

トラスツズマブ 初回8mg/kg、以降6mg/kg day1
シスプラチン 60mg/m² day1 2hr div
カペシタビン(経口) day1夕～day15朝、分2

3週毎を1コースとして繰り返す。

薬品名	投与時間	day1	2	3	day8	day15	...	day22
①生理食塩液 100mL (ルートキープ)	5分	↓						↓
②トラスツズマブ8mg/kg＋生理食塩液250mL	90分							
③ハルトマンG3号500mL＋硫酸マグネシウム補正液0.5A	2時間	↓						↓
④生理食塩液500mL	2時間	↓						↓
⑤生食100mL＋アロカリス1A＋パロノセトロン1V＋デキサート9.9mg	30分	↓						↓
⑥マンニトール 300mL	30分	↓						↓
⑦シスプラチン60mg/m ² ＋生理食塩液250mL	2時間	↓						↓
⑧ハルトマンG3号500mL	2時間(day2,3は80mL/H)	↓	↓	↓				↓
⑨ハルトマンG3号500mL	2時間	↓	↓	↓				↓
カペシタビンは下記用量を分2で内服(day1夕～day15朝)		●	●	●	●	●	●	●
トラスツズマブは2回目以降は6mg/kg 初回何ともなければ30分まで短縮可								

体表面積	S-1用量
<1.36m ²	2400mg/day
1.36m ² ～1.66m ²	3000mg/day
1.66m ² ～1.96m ²	3600mg/day
1.96m ² ≤	4200mg/day

主な副作用：infusion reaction、心不全、骨髄抑制、消化器症状、腎機能障害、末梢神経障害、手足症候群、下痢、脱毛、倦怠感など
シスプラチンによる腎毒性予防のため尿量確保が必要で大量補液を行うため基本入院での治療となる。